

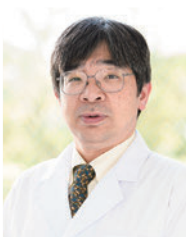
編集委員会



森脇 真一先生



新田 雅彦先生



萩森 伸一先生



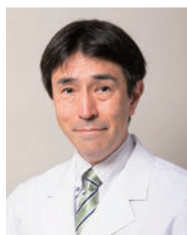
津田 泰宏先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生



池田 宗一郎先生



平松 亮先生



神吉 佐智子先生

編集後記

9月に入りましても厳しい暑さが続いております。かつては朝夕に秋の気配を感じる頃でしたが、近年は猛暑が長引く一方、ひとたび雨が降れば、短時間にこれまで経験したことのないような猛烈な雨に見舞われることも珍しくなくなりました。この9月も各地で大雨が相次ぎ、季節の移ろいとともに穏やかに変化していたかつての気候とは、ずいぶん様相が異なってきたように感じます。

さて、大阪医科薬科大学医師会会報第66号をお届けいたします。ご多忙のなか玉稿をお寄せくださった先生方に、心より御礼申し上げます。

巻頭言では、本年4月に救急医学教室教授に就任された山川一馬先生に、救命救急センターの現況と「断らない救急」への決意をご執筆いただきました。特集の座談会「地域連携を深める難病総合センター」では、大学病院、在宅医療、医療ソーシャルワーカーそれぞれのお立場から、難病診療を地域で支えるうえでの課題が率直に語られています。いずれの記事にも、地域とともに歩む本学の姿が通底しているように感じました。

不安定な天候が続いておりますが、少しずつ深まりゆく秋の気配にも目を向けながら、忙しい日々の合間に、心豊かなひとときをお過ごしいただければ幸いです。芸術の秋、味覚の秋を存分にお楽しみください。先生方のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

編集委員長 新田 雅彦